



暮らし・福祉・教育優先の市政をめざして
みんなが
住んでよかつた
と思える川西市に...

たんぽぽだより

日本共産党川西市議会議員 **黒田みち**

市議員団控室 TEL.740-1111 (内線4020)
直通FAX759-1811
黒田みち事務所 TEL.795-4760
たんぽぽだよりブログ
http://kurodamich.exblog.jp



運営も内容も異常な「キセラ川西整備事業」

議会最終日に請負議案を上程

9月定例市議会は、キセラり方の大問題について厳しく川西(中央北地区)整備事業 批判。2005年(平成17年)にも、関連して最終日に議案が追 中央北地区開発(住宅街区整備)加上程されるといふ前代未聞 事業・借金総額206億円は頓挫の異常な議会となりました。の莫大な補償費用が追加上程 議会の日程は通常、議会運 されたことも指摘し、中央北地 営委員会が審議の計画を決 区開発の進め方や税金投入の め、開会1週間前に当局から 異常性を批判しました。 の議案説明、議会初日に議案 残念ながら、他党派からの意 上程、最終日に議員全員で表 見はありませんでした。 決を行います。

ところが9月議会では、キセラ川西整備事業に伴う「土 内容も大問題です。 壤汚染・整地対策費用の今年 年度補正予算は、なぜ5億1140万 案を議会途中の17日に表決さ 円なのか。 せ、25日の議会最終日に急ぎ 当初予定していた中央北地 区開発(新たな区画整理事業・ 7135万8640円に変更)の議案を上 93億円)の土壌汚染対策費用は 程し、質疑、委員会審査、表 4億円。その後「土壌汚染対策 決するという異常な運営とな への兵庫県の取り扱いの厳格 化」で8.7億円の追加、さらに予 りました。

議会運営委員会(会派代表 定外として「地中構造物の撤 者の会議)で私(黒田)は、去 年に6.5億円(最大9.5億円)、 最終日に議案が上程されると 合計15.2億円(最大18.2億円)の いう議会を無視し、十分な議 追加予算が必要と市は説明。 案審査が保障されない当局の 1140万 円を補正予算で組み、残り10億 円以上(最大13億円以上)は、 次年度予算に組み入れるとい う「異常な税金投入」です。 市は「仕方がない、やむを 得ない」と巨額の税金を投入 し、大借金を抱える結果にさ せています。

中央北地区開発について日 本共産党は、「身の丈に応じた 開発を」「矛盾を封じる聖域化 は将来に禍根を残す」と批判、 提案し続けてきましたが、い まなお、中央北地区開発に特 化した「税金の使い方の優先 順位」が続いています。 市の総合的な施策に影響を 与え、市民にしわ寄せが押し 付けられないよう市民と市会 議員ともども注視していかな ければなりません。

黒豆の声

お陽さまと一緒に畦野駅前
「戦争法(安保法制)廃止」の署名
国会前の集会写真が
でえ〜んと載った
「国民連合政府」の呼びかけリーフ
「ああ〜それって志位さんが
言うてるやつかいな！」
カラーリーフを見て
声をかけてくださった男性
バイクにまたがったまま署名も
戦争法(安保法制)廃止！
閣議決定撤回！
憲法違反の内容も
国民無視のやり方も
議会軽視の決め方も
みんな「NO！」

立憲主義 民主主義を取り戻そう
そのためにも連帯を
自公政権に過半数の議席など
渡さない！
アベ政治を許さない！

私達は忘れない
私達が主人公
1時間で91筆の署名
「絶対に勝ちたいですね！」
笑顔の女性が署名*´-`*

もっともっと広げよう
「憲法守れ！平和守れ！」
人間が
大切にされる国を取り戻そう！

大きく手をふって
激励をしてくださる方々
新しい闘いがはじまっている☆

幼稚園・保育所の廃止はやめて！

説明会の翌日に事業者募集...

市民無視で、いけいけ どんどん

「幼稚園と保育所の廃止は 作り、ごり押し・見切り発車 やめて」などの642件のパブリックコメントや川西市子ど も・子育て会議の修正、付帯意 見を求める声を無視して、川西 市はほぼ当初計画案通りの「子 移転する」問題も全て市民無 視の根は同じです。 月28日にはじめて牧の台幼 園と緑保育所の保護者に「施設 一体化」説明会を行いました。 ところがその10日後の9月 7日には牧の台幼稚園の解体 者に対して、地域住民の皆さ ら、ご理解を...の一点 張り。賛成・反対以前の問題 として「情報提供」「説 明責任」「意見集約」そして「結 算もついていないのに、先 (詳細はブログ に事業者を決めて既成事実を 10月19日付け掲載中)

緊急速報

*1) 10月19日、「市として、グリーンハイツ地区の認定こども園事業者募集は、現時点の状況のまま募集手続きを進めることは困難と判断、一時中断する」との報告が行われました。



沖縄の総意

辺野古承認取り消し

翁長知事、新基地阻止へ決断

政府、法的根拠失う



会見する翁長知事=13日、沖縄県庁

政府が対抗措置

沖縄県は7月16日に埋め立て承認の法的な瑕疵を検証する第三者委員会の検証結果報告を受け、「内容等を精査したところ、承認には取り消しすべき瑕疵があるものと認められた」として、9月14日に承認取り消しに向けた手続きを開始しました。

県は取り消し処分に向け、手続きを経て検討した結果、「承認取り消しが相当」と判断。10月13日付で沖縄防衛局長に対し承認取り消しを通知しました。
取り消しの理由として、
①埋め立て申請では辺野古新基地の必要性が認められ

ないの環境保全措置が適切に講じられていない」として、2点を指摘し、沖縄防衛局が「承認に瑕疵はない」と提出した陳述書で述べた意見についても理由がないとしました。

翁長知事は会見で「今後も辺野古に新基地は造らせないという公約の実現に向け、全力で取り組む考えです」と表明しました。「これから法廷闘争になるが」と記者団から問われた翁長知事は「政府を相手

にするわけですから、そう簡単ではない」としつつ、いろいろな場面で国民や県民の理解を得よう努めた」と強調。「新辺野古基地は造れないと思っている」と述べ、「そこに大きな基地が出来上がって、200年にならないうちに沖縄県民の意思と関係なく、それが自由自在に使われる」として、政府の「取り消しによる普天間基地固定論」に反論しました。

辺野古の埋め立て承認取り消しは当然の帰結です。政府が強引に米軍新基地建設を進めてくる以上、知事が明確に意思表明し、その違法性をはっきりさせる必要があります。

沖縄県民は再三「辺野古はだめだ」と民意を示してきました。その声はどうして分かってもらえないのか。県

民の声などどうでもいいのか。民意を無視する安倍政権には「退場願うしかない」という思いです。

安倍政権は憲法さえ解釈で変え、立憲主義に反することを平気でやりました。その意味で、戦争法と新基地問題は根っこが一緒だと思えます。



那覇市議会議長 金城 徹さん

戦争法と根っこ同じ

合政府」を私は大変評価しています。

安倍政権を倒し、戦争法を廃止する政府をつくる点で、多くの人が集結することが大事です。昨年12月の衆院選で、沖縄では保守から共産党まで新基地建設反対で結集し、勝利しました。その経験からすると、今回の提案も十分可能性がありま

す。野党には「主義主張が違っても共産党と組めない」という意見もあるようですが、憲法違反の法律を通してしまおう今の政治を放置していいのか。政界も政治家も危機感を持って国民のために政治の役割をしっかりと果たさなければ、何のための政治かと厳しく問われるでしょう。今は時代の変わり目です。これから先の人たちにわれわれの責任を果たさねばなりません。

国民全体が日本の民主主義、沖縄の民意を考え、そして沖縄に巨大な新基地が本当に必要なのかを考えるなかで、辺野古問題を解決してほしいのです。

国が国に「不服審査」する異常



ジャーナリスト 青木 理さん

「消し」に反対し、国土交通相に行政不服審査法にもとづく「不服審査」を請求しました。しかし、この手続は、法律の趣旨とまったく違います。

行政不服審査法は、行政の違法・不当な処分や公権力行使に対し、国民に広く不服申し立ての道を開くことが目的です。庶民が公権力の横暴から身を守るための法律を使って、強大な国家権力が一地方自治体に

しん赤旗

をお読みください
お申し込みは黒田みちまで
TEL&FAX 790-3055